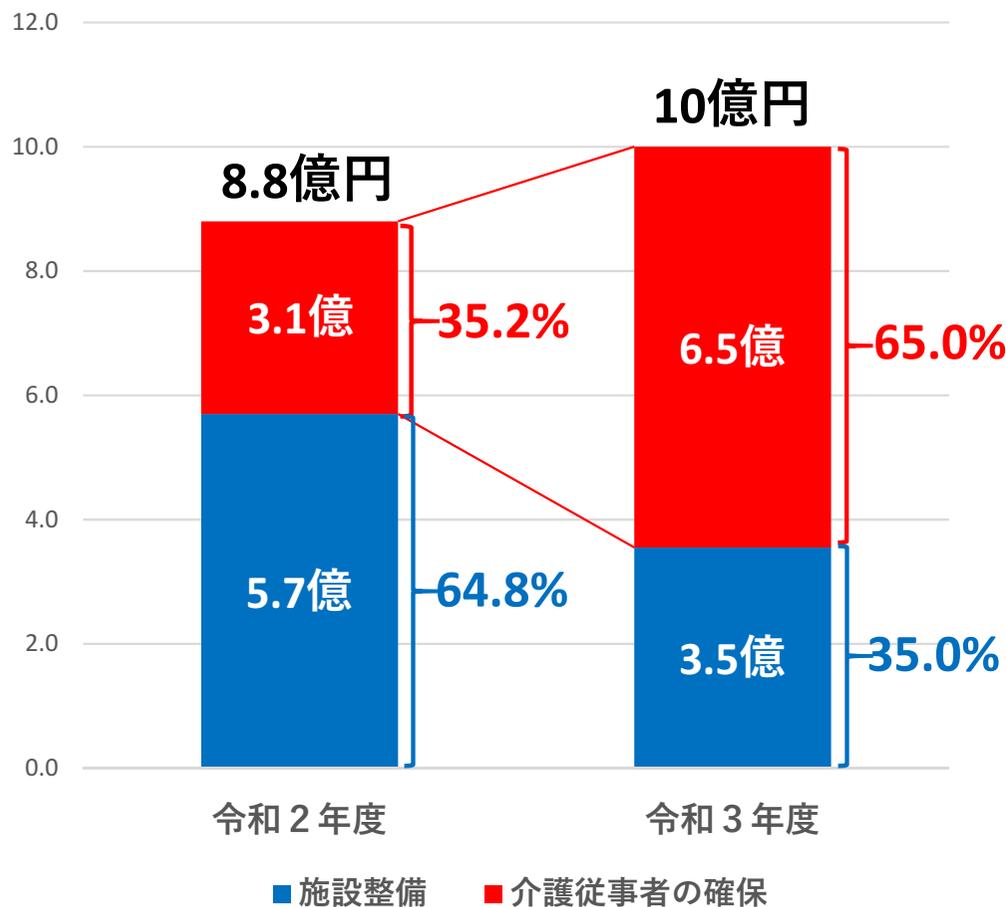


東構成員提出資料

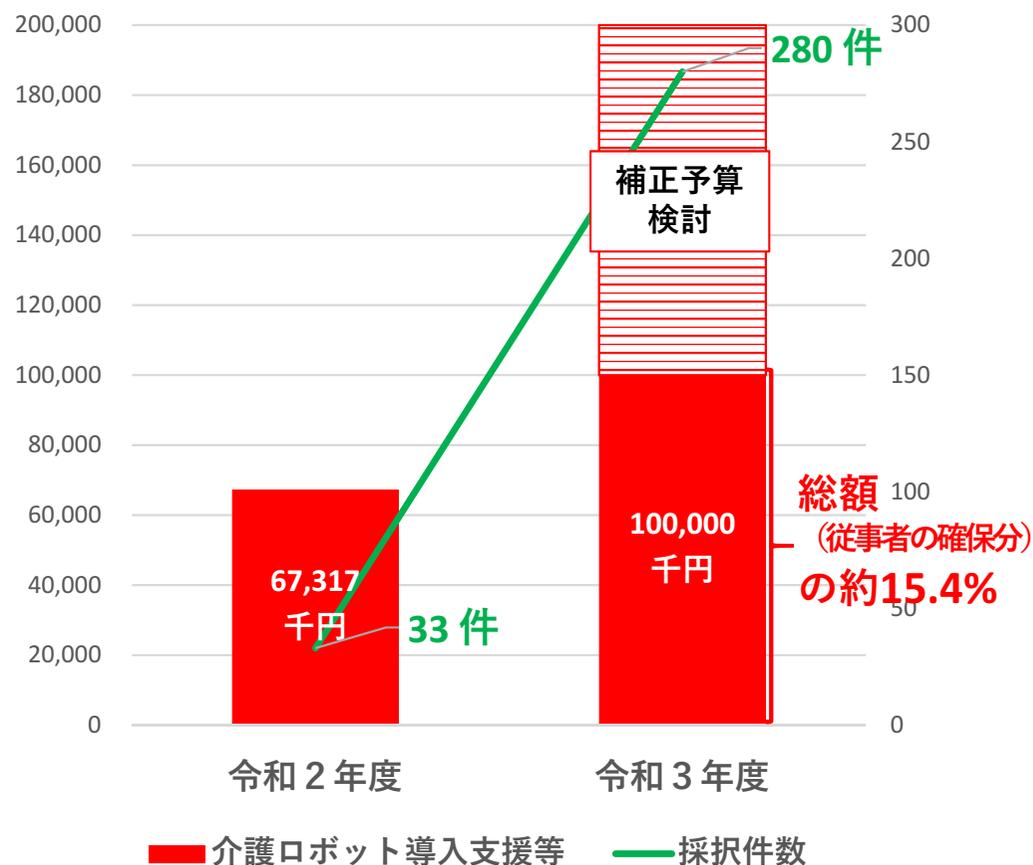
地域医療介護総合確保基金(介護分)の事例

【自治体A】



ICT・介護ロボット等の導入支援

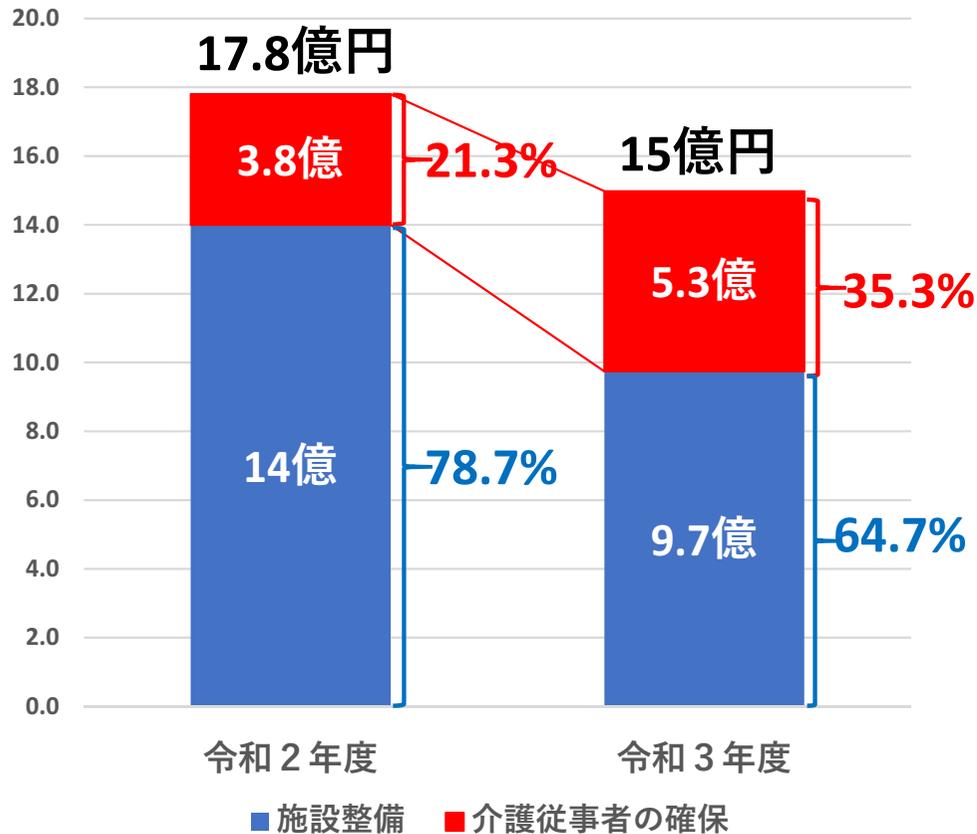
(介護従事者の確保に関する事業)



- ・基金（介護分）の配分の段階で、令和2年度では、施設整備分と介護従事者の確保分の割合がおよそ7：3の割合で施設整備分が大きかったが、令和3年度では、その割合が逆転し、3：7で介護従事者の確保分に多く配分されている。
- ・ICT・介護ロボット等の導入支援の予算も優先的に対応いただいている。

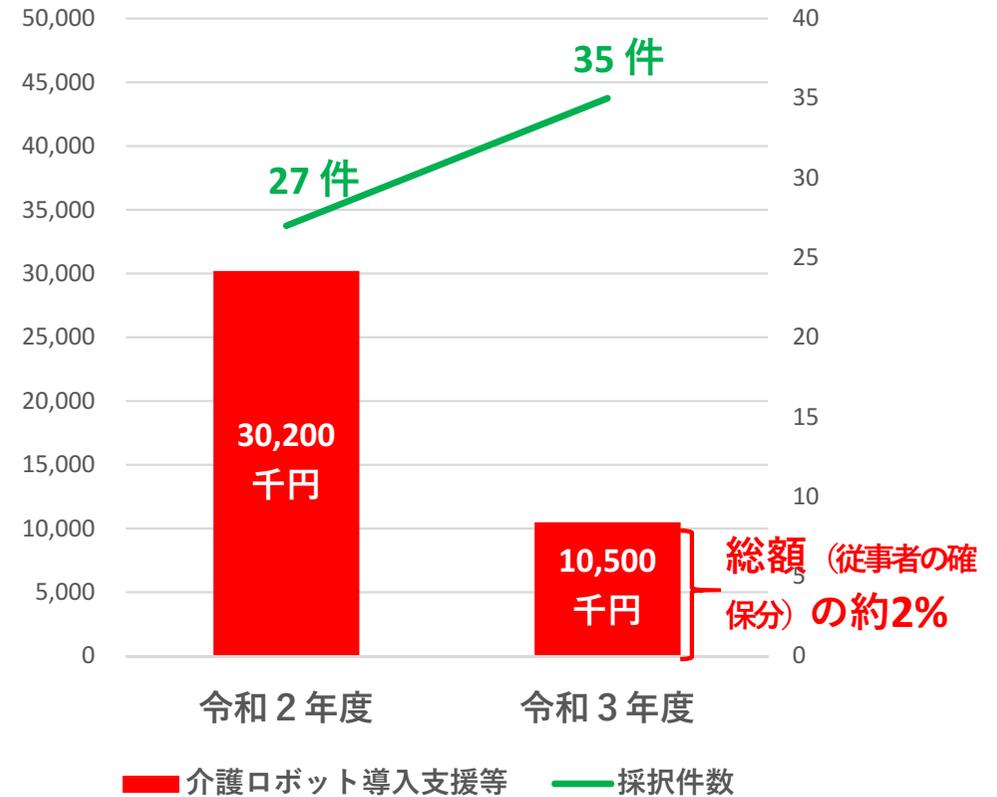
地域医療介護総合確保基金(介護分)の事例

【自治体B】



ICT・介護ロボット等の導入支援

(介護従事者の確保に関する事業)



- ・基金（介護分）の配分で、介護従事者の確保の割合が大きくなったことは評価される。
- ・介護現場の生産性の向上は重要な課題。また、令和3年度介護報酬改定においては科学的介護情報システム（LIFE）の導入が国によって推進されているが、このLIFEを推進するためにも、介護現場においてICT機器の導入が必須である。
- ・介護現場のICT機器の導入においては、このICTの導入支援・介護ロボット等に関する基金が有用であるが、この基金の使い勝手が悪いものになっている。